

カインとアベルの供え物

キー・ヴァース「主はカインに問われた。なぜ、そんなに落ち込んでいるのか。正しいことをするなら、あなたは受け入れられる。しかし、正しいことを拒むなら、気をつけなさい！罪が戸口にうずくまって、あなたを支配しようとしている。

厳選された聖典
創世記4:1-25

墮落した人類において、嫉妬は種族の始まりからその醜い頭をもたげていた。カインとアベルの物語で展開される偉大な道徳的ドラマは、すべての人に深い教訓を与える。その教訓を熟考することは、正しい人生を育み、力づける。私たちのキー・ヴァースは、この物語の教訓の核心に焦点を当てている。カインはアダムとエバの間に生まれた最初の子である。カインの両親は、神からの子孫繁栄の賜物に感激し、畏敬の念を抱いたに違いない。しかし間もなく、アダムとエバはもう一人の息子アベルをもうけた。カインには、親の愛情や関心を得るための競争相

手が現れたのだ（
）。このことが、アベルに対する嫉妬の最初の原因
となったのかもしれない。

聖書によれば、アベルは羊を飼い、カインは土を耕
す者であった。やがて、カインは土の実を生け贄と
して主に捧げた。彼はその日、主に捧げた最初の者
であった。カインは、自分の捧げものが主よりも優
れていることに満足感を覚えたのだろう。次にアベ
ルが主にいけにえをささげた。アベルの捧げ物は、
彼の群れの初子とその脂肪であった。主はアベルと
その供え物を尊重されたが、カインとその供え物は
尊重されなかった。個人的な軽蔑と犠牲の拒絶に憤
慨したカインの表情は曇った。

アベルの捧げ物がカインの捧げ物よりも受け入れら
れたのは、単にそれが動物の犠牲であり、"地の果
実

"ではなかったからではない。明らかに、穀物、油
、ぶどう酒はイスラエルの幕屋の取り決めで捧げら
れ、神に受け入れられた。カインとそのいけにえは
拒絶された。カインの心は嫉妬に燃え、兄弟を憎む
ようになった。これこそ、あなたがたが初めから聞
いていたメッセージである。私たちは互いに愛し合

うべきであり、悪い者の仲間であって兄弟を殺したカインのようであってはいらない。なぜ殺したのか。それは、彼の行いが悪であり、弟の行いが義であったからです」。第1ヨハネ3:11,12

主がカインを拒絶された原因は、こうして明らかになった！彼の行いは悪だった。しかし、主はいつになく憐れみ深く、カインを励まされた。なぜそんなに落ち込んでいるのか。正しいことをするなら、あなたは受け入れられる！罪がドアの前にうずくまり、あなたを支配しようとしている。しかし、あなたはそれを従わせ、その主とならなければならない。
"創世記4:6,7

私たちは皆、カインに対する主の教えから恩恵を受けよう。罪はドアの前に横たわっている。罪は私たち一人ひとりのすぐそばにあるが、私たちはそれを支配しなければならない！人生のあらゆる場面で、罪に抵抗しなければならない。ヘブル人への手紙の中で使徒がクリスチャンに勧めているように：「妨げとなるすべてのものを捨て去り、容易にからみつく罪を捨て去り、忍耐をもって走ろう。そして、信仰の先駆者であり完成者であるイエスに目を留めながら、私たちのために定められたレースを、忍耐をもって走ろうではありませんか。……罪人たち

からのこのような反対を耐え忍んだイエスを思いなさい。罪との戦いにおいて、あなたがたはまだ血を流すほど抵抗していない。"ヘブル12:1-4